

次の文章を要約し、次に要約をふまえてあなたの意見を書きなさい。要約と意見は、それぞれ 400 字以内にまとめなさい。

「ロボット」というと、人間のように 2 足で歩くヒューマノイド（ヒト型ロボット）が頭に浮かぶ人も多いことでしょう。工場など限られた場所で働くだけでなく、より広い分野での活躍が期待されています。

近年、注目されているのは災害対策や高齢者の介護などに使えるロボットです。

例えば、ホンダの「アシモ」のようなヒト型ロボットの性能が上がれば、原発事故のような人間が立ち入れない場所で、階段の上り下りやドアの開閉などができ、対策に生かされると期待されています。技術的な難易度が高く、これまで各国の関心は低調でしたが、福島第一原発の事故をきっかけに、米国も研究を本格化。ヒト型ロボット「アトラス」を開発したり、高い能力の足を開発した日本のベンチャー^{注1}を IT 大手のグーグルが買収したりするなど、開発に力を入れ始めました。

人間が身につけて腕力を強めるロボットも実用化されています。東京理科大が作ったのは、空気圧を使って重さ 30 キロの物を簡単に持ち上げられる「マッスルスーツ」。価格は 30 ～ 80 万円ほどを見込んでおり、寝たきりの高齢者を抱え上げる際の負担軽減などにつなげるねらいです。

人間がハンドルを握らなくても安全に目的地まで走ることができる「自動運転車」もロボットの一種と言えます。電波や光などのセンサーを使って周囲のクルマや歩行者を検知。それぞれの動きを推測して走り方を判断します。公道での十分な実験や法整備などが必要ですが、各メーカーは 20 年ごろの実用化を目指しています。

一方、こうしたロボットが暮らしを便利にする半面、新たな課題を生み出すかも知れません。

一つは人間の仕事がロボットに奪われてしまう可能性です。例えば、米国のネット大手は、倉庫で商品を仕分けるロボットを導入し、数年後には小型の無人機で商品を客の自宅まで届ける計画を進めています。英オックスフォード大の研究では、ロボットなどテクノロジーの発展が雇用に大きな影響を及ぼし、事務職などの中流層を中心に仕事が失われるだろう、と予測しています。

「殺人ロボット」が現れる心配もあります。すでに無人攻撃機や小型のロボット戦車が開発されています。自国の兵士は安全な場所からロボットを操作するので被害を減らせます。しかし、専門家の調査によると、米英の無人機によって 2004 年以降、誤爆などで 500 人近い民間人が犠牲になっていることがわかりました。今後、技術がさらに進めば、自分で「引き金」を引くような完全に自動化されたロボット兵器が現れるかも知れません。誤って攻撃する恐れや、制御できなくなった場合の影響が分からなくなる——など多くの懸念があり、国際的な議論が始まっています。

（朝日新聞 2014 年 6 月 28 日付朝刊『（今さら聞けない＋）次世代ロボット ヒト型、救助や介護に期待』による。一部改変）

注1 ベンチャー（venture） 新しい技術や知識を生かした冒険的な事業、または、そのような事業を行う企業。

〔下書き〕